

28 ダイゼン

(チドリ目)

Pluvialis squatarola

兵庫県ランク: C

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

シベリアからアラスカ北部、カナダ北部の北極ツンドラで繁殖し、繁殖後はアフリカからアジア南部、オセアニア、南アメリカなどの海岸に渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来するが、沖縄では一部が越冬する。主に干潟に生息し、特にゴカイ類を好み、甲殻類や昆虫類なども採食する。面積の広い干潟で、群れで越冬する。

国内分布

北海道、南千島、本州、飛島、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甕島列島、草垣群島、種子島、馬毛島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★明石市、★西宮市、★洲本市、伊丹市、豊岡市、加古川市、★赤穂市、★高砂市、南あわじ市、★淡路市、たつの市、稲美町



写真提供：鳥田陽子

(性別：不明)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に3-6月と8-11月に生息するが、冬期の記録も稀ではない。かつては瀬戸内側で広く記録されていたが、近年の生息環境の減少に伴い、個体数も分布域も減少している。現在は播磨西部地域、播磨東部地域でわずかに残された干潟や河口、水田などで記録されている。県北部での記録は少ない。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全および再生が重要。